

第1学期終業式式辞

令和6年7月19日

103日が今日であの日から過ぎました。83名の新入生を迎えた入学式あの日から。今、振り返ると、アツという間かもしれませんが、授業や模試、部活動、県総体、各種のコンテスト、クラスマッチ、定期考査、漢字テスト、野球応援などなど。その時その時、皆さん懸命に活動し、乗り越えてきたのかと思います。上手くいったこと、そうではなかったこと、自分が懸命に打ち込んだことの記憶はしっかりと残っていますが、ポーと過ごした時間は振り返っても、あの日は何をしたのかな、あまり思い出せないことがあります。

そこで、皆さんには、この夏休みが終わって振り返った時に、この夏はこれを頑張ったなど、しっかりと自分の心に誇れる時間にしてほしいと思います。なぜなら、高校時代、15歳から18歳という時代は、本当に貴重な時代・年齢だからです。

獲得年齢という言葉を知っていますか。ある本の中に、獲得年齢という言葉を見つけて心に残りました。知識や技術など何かを身に付け、一生涯忘れることなく、自分の財産となるものを得られる時、年齢があるそうです。

例えば、4歳5歳の時、初めて自転車に乗っても、数日でいや、一日で自転車に乗れるようになり、一生涯当たり前のように乗れるようになる。けれども、大人になってから初めて自転車に乗っても、数日では乗れない。いや、何度練習しても全く乗れないかもしれない。獲得年齢の時には身に付けられることが、その時代を過ぎると、たやすくは身に付かなくなる。知識や技術が、何度練習しても勉強してもなかなか身に付かない。それは、自転車だけでなく、習い事や勉強、運動などもそのようです。つまり、人生には、多くのことを吸収し獲得できる年齢があるということです。正に、皆さんの今、高校生、この時代が、人生の財産となるものを身に付けられる貴重な時なのです。私の恥ずかしい例で言うと、自分の高校時代はすぐに覚えられていたことが、なかなか覚えられなくなりました。高校時代に英語の勉強の一つに、大好きな曲の英語の歌詞をすぐに覚えて口ずさんでいたのに、今では、私の子供が最近聴いていた、パンタンソニョンドンと言うグループの曲を覚えようとしてもなかなか覚えられない。So Ima light it up like ええなんだったけ？ like Dynamite か。というように。

本当に、皆さんの時代がうらやましい。しかし、そんな貴重な夏休みの時間をだらだらと過ごして、後悔したことは、皆さんにはなかったですか。始業式に、サッカーや陸上競技など使われる言葉、ゴールには、目標とか目的という意味があって、どんなに能力のある素晴らしい選手でも、どこにゴール、目標があるのか分からないままでは、シュートも決められないし、陸上競技でスタートしてもゴールのテープも切れないと言う話をしましたね。貴重な時代である皆さんの夏休み、しっかりと自分のゴール・目標を持ってこの貴重な時間を過ごすようにしてください。私の歳になって初めて、高校時代がこんなにも貴重な時代なんだと分かるものかもしれませんが、私は後悔ばかりの夏休みでした。「若い人には、青春はもったいない」という言葉を残している、ノーベル文学賞受賞者のイギリスの作家がいますが、もったいない時間にしないようお願いします。

三年生は、今後の将来に向けて真剣に考え、具体的に志望を絞っていく時期です。一、二年生は、課題や部活動など、新たな目標をしっかりと見つけ進んでいくこととなります。二学期元気な顔で会いましょう。いい夏休みを。以上で、私の式辞とします。